

令和3年度 日置市教育委員会定例会(10月)

○日時：令和3年10月21日(木) 午後1時30分～午後2時15分

○場所：吹上中央公民館 大会議室(2階)

○出席者：奥教育長

委員：内村委員・中島委員・胸元委員・鵜木委員

事務局：梅北(事務局長兼教育総務課長)・渦尾(学校教育課長)

横枕(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)

坂上(日吉支所教育振興課長)・松岡(吹上支所教育振興課長)

東(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長：これより日置市教育委員会10月の定例会を始めたいと思います。

2 前回議事録の承認

奥教育長：それでは9月議事録の承認をして頂きたいと思います。修正箇所等はございませんでしたか。

奥教育長：よろしいですか。

(特になし)

それでは承認と致します。

【前回の議事録承認】

今回の議事録承認の署名・押印は内村委員と中島委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長：次に委員及び教育長の報告です。まず委員の皆様方からお願いいたします。中島委員からお願い致します。

中島委員：はい。それでは前回の定例会以降の活動について報告させていただきます。

学校訪問が2校ございましたので、それについて報告させてい

たきます。

まず10月5日、鹿児島教育事務所との合同計画による学校訪問で、上市来中学校を訪問させていただきました。校内周辺の木々なども綺麗に整備され自然豊かな環境の中で、男子生徒14名、女子生徒9名、合計23名、職員構成の方が川端校長、それから小林教頭以下17名ということで、校訓に「自律・敬愛・根性」を、キャッチフレーズが「個性輝き、協力し、笑顔あふれる学校」となっております。初めに学校経営について説明を受けました。頂いた資料はどの項目も分かりやすく、丁寧に記され、学力向上における取組みの中で、鹿児島県学力定着度調査における比較推移や、特に全国学力学習状況調査の都道府県別回答率比較に関する記述については、上市来中学校が他の県と比較されており、全国のどの位置にいるのかが分かりやすく、現状や改善課題の把握がすごく分かりやすい内容となっております。教育目標に記された学力向上の対応として、生徒一人一人について学力向上委員会を中心に「実態把握と基礎・基本を徹底させる授業改善の充実」、「主体的・会話的で深い学び」、「現実に向けた授業作りの工夫」、「家庭学習課題の工夫」といった組織的な取り組みがなされていると、訪問された方々からも意見が多く出ておりました。

授業参観では、どの教室の掲示物も色画用紙等を用いるなど、テーマごとに見やすく、環境整備もしっかりなされておりました。授業はICT機器も活用され、生徒一人一人がタブレットを活用した授業が実践されておりました。図書室の掲示は、テーマごとに工夫され、優しい色彩の紙に太さ・大きさが整った文字で表示されており、落ち着いたのある室内で普段本を読まない生徒も入りたくなる図書室と感じたところです。また、教室を移動する際、教室の手前には季節の花と一緒に一冊の本が廊下の隅に置かれた椅子も数カ所拝見することができました。校長先生は以前、県立図書館に勤務されていたというご経験もあり、校長による読み聞かせ実践をされるなど、川端校長先生の本を目にし、本に触れる機会、話の仕掛けはさすがだなと思ったところです。上市来中学校は、再来年度、東市来中学校との統合を控えておりますが、教育目標の生徒一人一人が「自ら学び豊かな心を持ちコミュニケーション能力を備えた心身ともにたくましい生徒の育成」について、

校長先生の目指す教師像、教育愛に溢れ思いやりある教師、今あるように教頭先生の親切丁寧な対応や、参観の合間に準備されていた冷たいおしぼりの準備など、職員の先生皆さんそのものがまさに教師像であり、しっかり実践されている学校というように改めて感じさせてもらった学校訪問となりました。

10月12日、市教委学校訪問で妙円寺小学校を訪問させていただきました。男子児童244名、女子児童217名、計461名、宮里校長、それから江口教頭、以下37名の妙円寺団地中央に位置する小学校です。「ふるさとを思い、心豊かでたくましく、学びに向かう児童の育成」を教育目標に「目指せ！あいさつ日本一！」、「進んでちょボラ あいさつと歌声響く 妙円寺」のキャッチフレーズどおり元気で明るい児童の集う小学校でした。特別支援児童36名と特別支援教育にも力を注ぎ、家庭と学校、それから関連施設との連携も図っており、今後の課題解決に全力で取り組んでいる内容も知ることができました。学力向上のため、独自の「妙小メソッド」を活用した授業改善に努め、職員研修授業や相互授業参観による授業の向上、また、児童の地域高齢者との交流や妙円寺詣りへの参加など、地域に根差した活動も取り組んでいる内容を伺うことができました。地域ボランティアの方々の温かい協力もあり、学校の安全登校、下校もなされていることも確認したところでした。また妙円寺小学校の概要については、他の委員の先生からも報告を頂きたいところです。

なお、9月26日の伊作田小学校、美山小学校の運動会、10月3日の東市来幼稚園、鶴丸小、幼小合同の運動会は私用につき欠席させていただきました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。続きまして鵜木委員お願い致します。

鵜木委員：はい。9月の下旬から10月にかけて、運動会を含めて5校の学校訪問をしています。内容が非常に多くなりますので概略で報告をいたします。

まず、9月26日は飯牟礼幼稚園・小学校の合同運動会と伊集院北小学校の運動会を参観しました。コロナの影響もあり、昨年度と同様に午前中の開催となりました。この日は同じ日に開催されていた土橋幼稚園・小学校・中学校の合同運動会も含め3会場を

回る予定を立てていましたが、土橋幼稚園・小学校・中学校の運動会は、本年度、午前中開催であったようで、着いた時にはすでに終わっており残念でした。まず、飯牟礼幼稚園・小学校では、開会式から参加し、午前9時30分までに行われた園児から6年生までの「かけっこ」と「短距離走」を参観させていただきました。大会スローガンに「きずなを深めて走り抜け 流した汗が金メダル」を掲げ、オリンピックやパラリンピックの選手に自分たちを重ね合わせ、園児6人と児童67人が男女混合で行われる中で、金メダルを目指して力いっぱい走る姿に感銘を受けました。

伊集院北小学校には10時に到着し、4年生の短距離走から最後の種目である色別対抗リレーまでを参観しました。6年生の親子による「親子の絆」という種目では、保護者と子どもが手を繋いでスタートし、途中で風船を膨らませ、お互いがお腹に挟んで割るのですが、風船がなかなか割れにくいチームがあり、地面の上でお尻で割る光景を何度となく目にしました。さらに、保護者が子どもを背負って走るところでは、逆に子どもが保護者を背負って歩く姿に微笑ましさを感じました。やや暑さは感じましたが、コロナ禍の中で天候にも恵まれ、運動会が実施できたことは喜ばしいことだと思いました。近年、全国的に春に運動会が催される傾向がありますが、個人的にはやはり秋のこの時期に行われる運動会が味わいがあって良いなと感じました。

続いて9月28日は鹿兒島教育事務所と市教委の合同計画訪問で伊集院北中学校を訪問しました。学校教育目標に「郷土を愛し 豊かな心とたくましい体をもち 夢に向かって粘り強く 自ら学び続ける生徒の育成」を掲げ、「人間として自己実現を図る生徒の育成」、「小・中一貫教育の推進」、「地域と共にある学校づくり」を基本理念として、生徒の長所を伸ばすとともに、これから育てたい能力、例えば「聞く姿勢」のような能力については、授業を始めとする学校生活を通して育成するなどの様々な取り組みを行っていました。学力面については、2年生が他の学年に比べて若干劣る傾向はあるものの、1年生と3年生は偏差値も高く、学力を十分に発揮している状況にあることが確認できました。また「服務指導」の中で、残業を必要とする職員はネームを付けて対応することや、ロールプレイを通じで原因を探るようにしていることも報

告されました。授業参観も2時間目と3時間目を使い、全ての教室での学習の状況を参観させていただきました。中には、学習課題の提示のない授業があったり、例示を示さないため生徒の理解が深まらないだろうなど感じる授業があったりはしましたが、概ね「ねらい」を達成している授業が行われていました。

10月5日は同じく合同計画訪問で、伊集院北小学校を訪問しました。先ほど中島委員が上市来中学校訪問について報告されましたが、午前中が伊集院北小学校の訪問、午後が上市来中学校の訪問とダブルヘッダーでの訪問になっていたようです。校長から、週2回の「定時退庁日」を設け、具体的な業務改善に取り組んでいると説明を受けました。教育目標に「うるわしい教育環境の中で自ら進んで学び判断し行動できる心豊かでたくましい子どもを育てる」を掲げ、目指す学校像、目指す児童像、目指す教師像を柱として取り組みが進められていました。中でも、日置市の「おひさま運動」のように学校での行動規範となる「そ・よ・か・ぜ・き・た」の合言葉は「あいさつの励行」、「考えた行動」、「鍛錬」、「学習」、「学校づくり」、「思いやりの心」など、取り組むべき内容を分かりやすく端的に示すものであると感心しました。また、特別活動の地区指定研究協力校として「特別活動を通じた全校的な仲間づくり」をサブテーマに、2カ年に及ぶ研究・実践をしてきた成果を発表する「研究公開」が11月9日に行われるとのことで、こちらでの発表にも興味を持たれます。学力については、4年生は学習内容についての理解が図られています。他の学年では国語や算数に課題が見られるようでした。対策として「基礎・基本タイムの設定」や「補充タイムの充実」に努めているとのことでした。さらに健康診断の結果で、むし歯のある児童が多く、治療率も70%台で推移しているとのことでしたので、家庭との連携をさらに深める必要性を感じました。

10月12日は、市教委の妙円寺小学校の訪問で同行させていただきました。先ほど中島委員からも報告がありましたが、妙円寺小学校は県費負担教職員30人の中で、20代、30代の教員が8人おり、標準勤務年数を超えた教職員が0というバランスの取れた配置が成されていました。平均年齢も45.7歳と若く、さらに管理職試験合格者が14人もいるという恵まれた人的教育環境の中で、地域の

信頼に応える学校経営がなされていると感じました。教育目標に「ふるさとを思い 心豊かでたくましく 学びに向かう児童を育成する」を掲げ「豊かな心の育成」と「学力向上」、「たくましい体づくり」に努めていました。学力の実態としては、一部の学年で理科がやや劣るところもありますが、全体的に全国平均を上回る結果を残しており、地域の期待に応えている状況を感じ取れました。授業参観を通して、児童が良い意味でよく声を出していると感じました。発言することは授業への関わりが積極的であることの証で、これらのことが学力の高さに結びつくものではないかと思えます。

今回訪問した3校は同じ中学校区にある学校として、いくつかの課題はあるものの、小学校での取り組みと中学校での取り組みが一貫している状況を確認することができ、市の小・中一貫教育の実践が確かな成果に結びついていることを実感する学校訪問であったと思います。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。続きまして胸元委員お願いいたします。

胸元委員：報告させていただきます。10月12日、妙円寺小学校市教委訪問に出席いたしました。訪問時には児童の皆さんからの気持ちの良い挨拶をもらい、「先手あいさつ誰にでも」を特色ある教育活動にあげ実践している様子を見ることができました。中庭にはベンチが設置されるなど、児童が過ごしやすいよう環境が整えてありました。授業ではICTを活用していましたが、タブレット操作に戸惑い周囲の流れについていけない児童が取り残されないよう、いち早く気づき対応しながら進めてほしいと思いました。

10月13日、永吉小学校・和田小学校・花田小学校合同稲刈り体験が行われました。永吉ふれあい会の方が「自分で苗を植えた所を刈り取ってください。数本だった苗が育ち、多くの米が実っていることが分かると思います」と刈り取り方とともに子どもたちに伝えたところ、稲を刈り取る子どもたちから「こんなに大きくなるんだね」や「実が沢山付いてる」など、あちらこちらから観察する声が聞こえてきました。低学年には米を束ねることが難しいのですが、大人の手を借りながら小さな手で束ねようとする姿は愛らしくもたくましさを感じました。

9月26日、永吉小学校の運動会に参加いたしました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。内村委員、お願いいたします。

内村委員：報告させていただきます。

9月26日はすばらしい青空のもと、記念すべき日吉学園の第1回運動会に出席しました。1年生から9年生まで259名の元気な子どもたちが一同にグラウンドに集合しての運動会でした。スローガン「新しい時代 今 ここから 1つになろう 9つの輪」のとおり、開会式から8種目の競技、7種目の演舞、閉会式まで、児童・生徒・教職員が一丸となって、競技・運営を進めました。短距離走やリレーでは、一人一人が最後まで真剣に走り、前期課程の演舞では1年生から6年生が明るく元気に踊って、確かな子どもの成長に保護者も喜んでいました。最後の締めの後期課程応援団演舞は、学園最後の9年生団長がリーダーシップを如何なく発揮し、団員の心を一つにして、夏休みからの猛練習の成果を見事に披露して、観衆が鳥肌の立つような大きな感動を届けました。このすばらしい感動を前期・後期課程の一人一人が胸に刻んで、明日からの日吉学園の良き伝統に繋げていってほしいと思いました。

10月19日は、日置市こども・子育て会議に出席しました。計画策定の背景と趣旨について、厚生労働省の調査によると、国の貧困率は平成30年度時点で13.5%、およそ7人に1人が貧困の状態です。このような状況を背景に、国も「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を策定し、本市でも「日置市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、保育・教育・地域の子育て支援の充実を図り、妊娠・出産期からの切れ目のない子育て支援環境を図っています。その上で、貧困の状態にある子どもたちが健やかに育成される環境の整備、教育を受ける機会に均等を図り、生活の支援等のため「日置市子ども貧困対策計画（仮称）」を策定します。計画対象の範囲は、生まれる前から18歳までの子どもとその家庭です。計画の策定にあたり、令和2年度に市内の小学5年生の児童及び中学2年生の生徒とその保護者を対象に「子どもの生活に関するアンケート調査」を、また市内に居住する各種団体にキーパーソンヒヤリングを実施しました。両方の各種調査結果の課題として、①経済的状況における支援、②教育における支援、③子育て世代における支援、④ひとり親家庭における支援、⑤相談窓口の体制整

備における支援、⑥サービス制度利用の情報提供における支援が課題として出ています。今回は、計画の概要、貧困の状況、アンケート等の調査結果、課題等の説明があり、今後、2回の会議の中で子どもの貧困対策計画の策定業務を進めていくということでした。

なお、10月12日の妙円寺小学校訪問につきましては、ただ今中島委員、胸元委員、鶴木委員が詳しく述べられたので、私の方は割愛いたします。私からは以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございます。それでは私の方からいくつか紹介をさせていただきます。

まず、9月30日に日置地区中学校駅伝競走大会が吹上でありました。結果は、日置市の中学校がそれぞれ3位までに入っています。男子は1位が東市来中、2位が伊集院中、3位が伊集院北中、それから女子は1位が伊集院中、2位が伊集院北中、3位が東市来中ということです。3位までのチームは11月11日に指宿で開催されます県大会に出場をする予定です。

それから、10月2日にPTA主催の教育講演会がありました。今回は、「健康被害とメディアの危険な関係」という題でネットポリス鹿児島を増田淑子さんを講師に開催されました。特にスマートフォン、ゲーム機等のもつ危険な状況について具体的なお話を頂いて、講演会がPTAの代表の方のみでしたので、是非こういうことをそれぞれのPTAで広げていただきたいと思います。

資料もお配りしてありますが、国際交流員、ALTが交代をしています。10月4日に韓国からの国際交流員でイム・アンヌさんが着任されました。それから10月11日には、ALTの方が着任をされています。東市来支所に勤務されますが、チェルシーさん、アメリカからのALTの方で女性です。ALTはもう一人、日吉の方に11月に来られますが、この方も女性でニュージーランドからということです。なお、国際交流員はもう一人マレーシアからの方もおりますが、こちらも11月15日に着任されるということです。

それから、妙円寺詣り行事大会がいよいよ始まりますが、10月17日に弓道大会が一週間早く開催されています。今度の土日が行事大会になりますが、パンフレットもお配りしておりますので、

是非ご参加を頂きたいと思います。昨年度、鹿屋体育大学の山田理恵先生を中心に妙円寺詣りについてまとめられた論文を頂いておりました、今日皆さんにご紹介すると良かったですが、また皆さんにご紹介したいと思います。鶴木委員の方から頂いておりましたが、非常によくまとめてあり、ありがたいなと思うところでした。

それから前後しましたが、10月11日に文化財保護審議会がありました。その中で、新しく日吉の早川良行さんが委員に入られました。委員長はこれまで帖佐さんという方でしたが、今回から西郷隆文さんが今度は委員長ということでその職に就かれました。伊集院小の前にあります郡役所門の扱いについて諮問をして、答申を頂くことになっています。以上で報告を終わります。

4 議事

【報告第21号 令和3年度日置市一般会計補正予算（第8号）の市長への意見具申について】

奥教育長：それでは議事に入ります。今日の報告は一件です。報告第21号、令和3年度日置市一般会計補正予算（第8号）の市長への意見具申について説明をお願いします。梅北事務局長。

梅北局長：はい。資料の1ページです。報告第21号、令和3年度日置市一般会計補正予算（第8号）の市長への意見具申についてです。令和3年度日置市一般会計補正予算（第8号）について、意見を求められ、別紙のとおり回答し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものです。

資料の6ページをお開きください。11款災害復旧費 4項文教施設災害復旧費です。補正前予算額が751万4千円、今回補正額が2,200万円、補正後予算額2,951万4千円とするものです。説明資料によりまして説明させていただきたいと思います。14ページをお開きください。まず歳出になります。11款4項1目学校災害復旧費 14節工事請負費 2,200万という予算計上になります。これにつきましては、8月17日あたりの連続する雨により、妙円寺小学校の北側斜面の西側の方が崩落しましたが、この法面は4段で構成されており、上2段が崩落しており、下の段は崩落した土が

乗っているだけで、現状の法面は崩れていない状況でした。この崩落部分の2段について、法枠工を施し、排水等が効率よくなされるような施工を行います。妙円寺小学校敷地の表面水は、排水施設であります側溝に流れるようになっていますが、降り続いた雨による浸透した雨水で法面の保水力が無くなったため、法面が緩んでしまったことにより崩落が起こったと考えているところです。下の段についても、直径5センチで3メートルの筒状の排水パイプを斜めに打ち込み、土が含んだ水を排水できるように数十本打ち込みます。また、敷地内の西側にも芝貼りの法面があり、その部分についても崩落が考えられますので、そちらにもそのパイプを打ち込んで、少しでも排水できるような処理をしていきたいという内容です。支出の方は以上ですが、これに伴う歳入ですが、13ページになります。15款1項4目 災害復旧費国庫負担金です。02節公立学校施設等災害復旧費国庫負担金は、事業費2,200万円に対して1,466万6千円の歳入を計上しております。以上で説明を終わります。よろしくお願ひします。

奥教育長：はい。ありがとうございます。ただ今説明があったとおりですが、ご質問等ありましたらお出してください。よろしいでしょうか。

(特になし)

それでは報告第21号は、承認とさせて頂いてよろしいでしょうか。

(特になし)

では報告第21号は、承認といたします。

【報告 第21号 承認】

5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所教育振興課長
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 閉会

奥教育長：以上をもちまして、日置市教育委員会10月の定例会を終了いたします。お疲れ様でした。

終了

署名委員 胸六 直美 

署名委員 藤本 親志 